保証書 持込修理 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
   (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
   (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   (ホ)本書のご提示がない場合
   (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合
   (但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
   (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	ポータブルDSPラジオ			★お買い上げ日: 年 月 日
型 番	RAD-F630Z	品 番	07-7763	保証期間:本体1年間(お買い上げの日から)

お客様	★お名前(ふりがな) 様
	★ご住所 〒 ー 電話 ( )

修理メモ

販売店	★住所 店名 電話 ㊞

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは **お客様相談室** へ
●通話料無料 0120-963-006 ●携帯・IP・公衆電話からは 048-992-2735
電話受付 平日 9:00～17:30 土曜 9:00～17:00 日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は **修理ご相談センター**へ
電話受付 048-992-3970 平日 9:00～17:00 土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-7763A

AudioComm®

取扱説明書

保証書付

ポータブルDSPラジオ

型番:RAD-F630Z 品番:07-7763

このたびは、AudioComm®ポータブルDSPラジオをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

目 次

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
●本製品によって生じたデータの消失または破損
●本製品のために費やした時間及び経費
●本製品を運用した結果もたらされた損害
●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。（左図の場合は感電注意が描かれています。）
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。（左図の場合は分解禁止が描かれています。）
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く、が描かれています。）

⚠警告

使用禁止	**万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本機の電源を切り、乾電池を取り外す** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。
使用禁止	**万一、内部に異物や水などが入った場合は、使用を中止する** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。
分解禁止	**本機を分解、修理、改造しない** ●火災・感電の原因となります。
接触禁止	**雷が鳴り始めたら、安全のため本機に触れない**
禁止	**浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない** ●感電や故障の原因となります。

⚠注意

禁止	**ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない** ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない** ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。
禁止	**ほこりの多い場所に置かない** ●火災・感電の原因となることがあります。
禁止	**電磁波を発生させる機器（テレビ、モニターなど）に近づけない** ●電磁波により、お互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。
乾電池を取り外す	**旅行などで長時間本機を使わないときは、必ず乾電池を取り外す** ●火災・液もれの原因となることがあります。
音量は小さく	**音量を抑える。大音量にしない** ●周囲の迷惑になります。 ●大きな音で聴き続けると、聴力障害などの原因となることがあります。

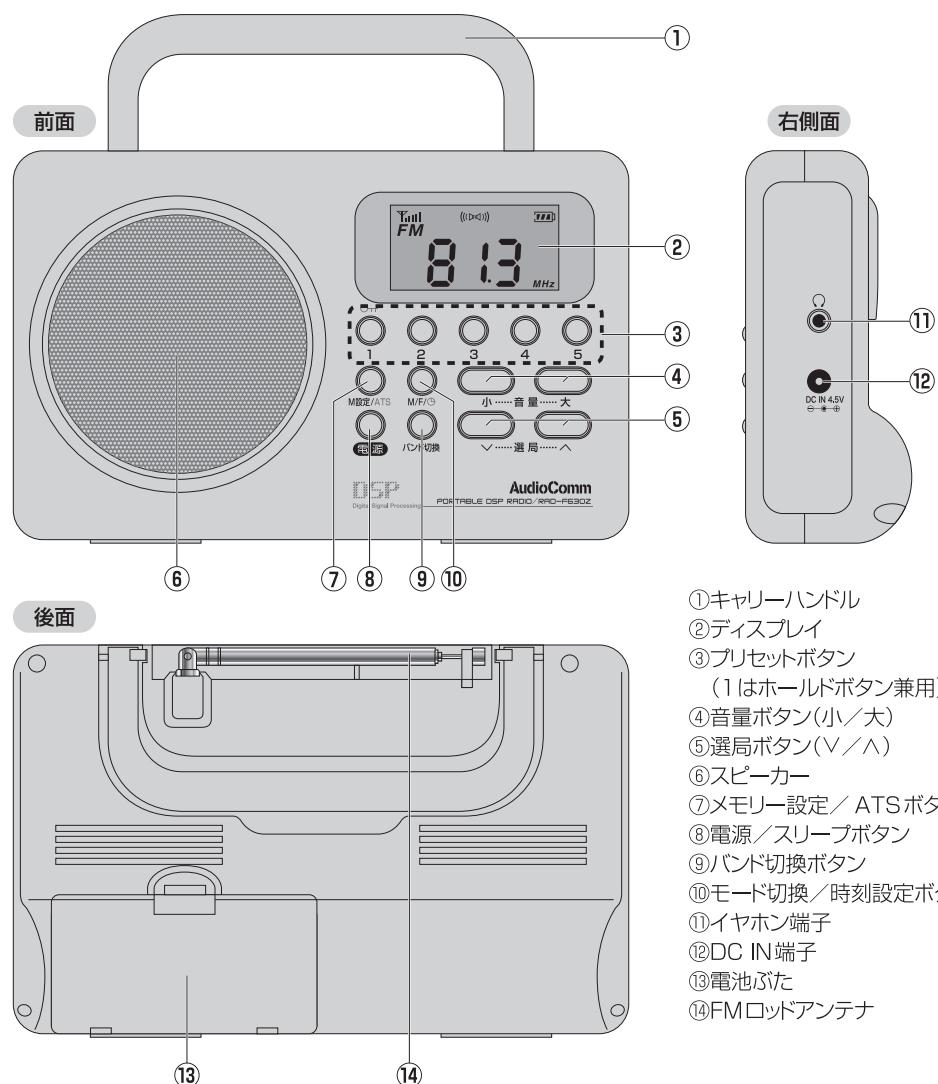
乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

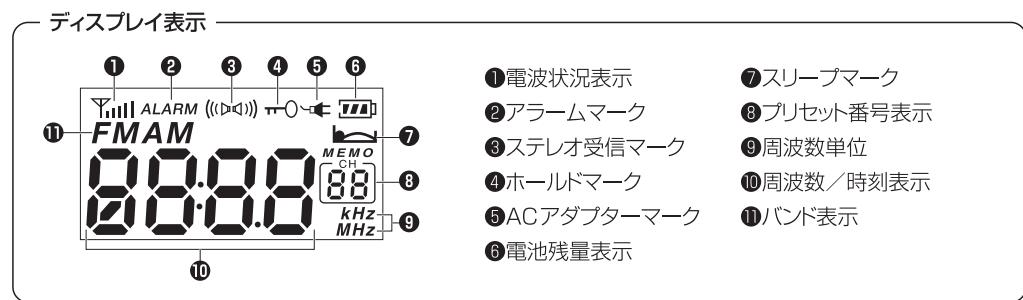
警告	・火中への投入、加熱、分解をしない ・ショートさせない
⚠注意	・⊕⊖の表示通りに入れる ・指定以外の乾電池を入れない ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない ・使い切った乾電池はすぐに取り出す ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
●万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
●使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

次ページに続く

ACアダプター(別売)にて本機を使う場合は、以下のことをお守りください。

警告

  規格を確認	**本製品を使用するときは、必ず本機の仕様に適合したACアダプターを使う** ●本機の仕様と異なるACアダプターを使うと、製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。
 コンセントから抜く	**万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。
	万一、内部に異物や水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。
 禁止	**ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない** ●コードが破損して火災・感電の原因となります。
	 ACアダプターのコードの上に重いものをのせない ●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
	ACアダプターのコードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●修理をご依頼ください。
	ACアダプターのコードを敷物などで覆わない ●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。

注意

 禁止	**ACアダプターのコードを熱器具に近づけない** ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らない ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ず電源プラグを持って抜いてください。
 濡れ手禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** ●感電の原因となることがあります。
 コンセントから抜く	**お手入れの際や移動させるときは電源プラグをコンセントから抜く** ●コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
 掃除をする	**電源プラグとコンセントの接続部を定期的に掃除する** ●電源プラグとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。 ●使用環境にもよりますが、2年に1回程度、機器内部の掃除をお勧めします。最寄りの販売店にご相談ください。

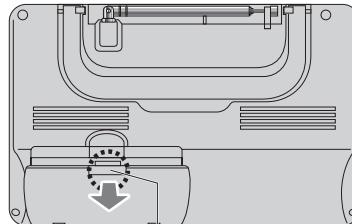
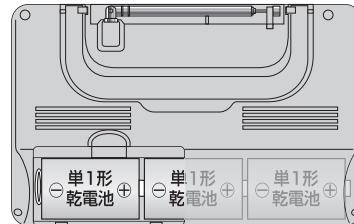
各部の名称

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

後面

⑬ ⑭

①キャリーハンドル
②ディスプレイ
③プリセットボタン
（1はホールドボタン兼用）
④音量ボタン(小／大)
⑤選局ボタン(∨／∧)
⑥スピーカー
⑦メモリー設定／ATSボタン
⑧電源／スリープボタン
⑨バンド切換ボタン
⑩モード切換／時刻設定ボタン
⑪イヤホン端子
⑫DC IN端子
⑬電池ぶた
⑭FMロッドアンテナ

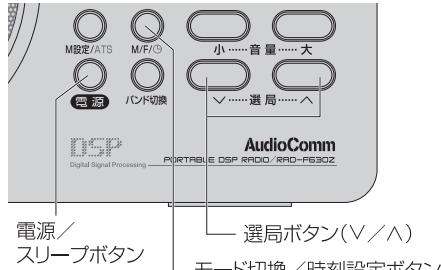
❶電波状況表示
❷アラームマーク
❸ステレオ受信マーク
❹ホールドマーク
❺ACアダプターマーク
❻電池残量表示
❼スリープマーク
❽プリセット番号表示
❾周波数単位
❿周波数／時刻表示
⓫バンド表示

電源について

乾電池を出し入れしたり、ACアダプターの電源プラグを抜き差しするときは、電源を切ってから行ってください。

乾電池(別売)の入れかた

アルカリ乾電池のご使用をお薦めします。

1. 電池ぶたのツメを外し、電池ぶたを開けてください(下図参照)。
2. 単1形乾電池3本(別売)を、本体記載図柄を参照し、⊕⊖の向きに注意しながら正しく入れます。
3. 乾電池を入れ終えたら、電池ぶたを元通りにしっかりと閉めてください。

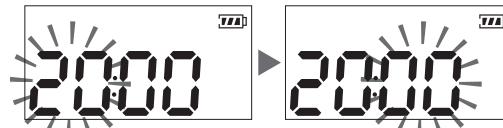
電池ぶたのツメを外して開ける

単1形乾電池3本(別売)

ヒント　乾電池の残量が少なくなると、ディスプレイの表示が図のように変化します。少なくなったら早めに新しい乾電池と交換してください。

残量あり

少ない

残量なし(点滅)

現在時刻の設定方法

電源が入っているときは、電源／スリープボタンを押し、電源を切ってから操作してください。

❶ モード切換／時刻設定ボタンを長押しします。
「時」表示が点滅します。

❷ 選局ボタン(∨／∧)を押して「時」を設定し、モード切換／時刻設定ボタンを押します。
- 本機は24時間表示です。
- モード切換／時刻設定ボタンを押すと「分」表示が点滅します。

❸ 選局ボタン(∨／∧)を押して「分」を設定し、モード切換／時刻設定ボタンを押します。
設定が確定し、点滅が止まります。

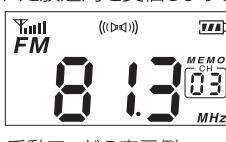
ご注意

- 何も操作しない状態が約9秒間続くと、その時点で設定が確定します。必要に応じて最初からやり直してください。
- 以下の場合は、時刻の再設定が必要になります。
  - ・乾電池を交換した場合
  - ・ACアダプター(別売)を装着した状態で、プラグをコンセントから外した場合
  - . ACアダプター(別売)の接続／取外しを行った場合

ラジオを聴く

モード切換／時刻設定ボタン

小……音量……大　∨……選局……∧　電源　バンド切換　M設定/ATS　M/F/◷　DSP　AudioComm　PORTABLE DSP RADIO/RAD-F630Z

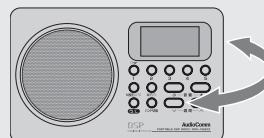
❶❺ ❷ ❸ ❹

●**手動モードと自動モードについて**

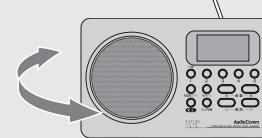
手動モード…任意の周波数を選んで受信します。
自動モード…メモリー登録された放送局を受信します。

手動モードの表示例

手動モードの表示例

※手動モードと自動モードは、モード切換／時刻設定ボタンを押すことで切り換えることができます。ここでは手動モードでの受信方法を説明します。
※FM放送のディスプレイ表示を例に説明しますが、AMラジオの場合も操作方法は同じです。

❶ 電源／スリープボタンを押して電源を入れます。

❷ バンド切換ボタンを押して、AMまたはFMを選びます。

❸ 選局ボタン(∨／∧)を押して、周波数をお聴きになりたい放送局に合わせます。
- FMの場合は0.1MHzごと、AMの場合は9kHzごとに送ります。
- 長押しすると周波数が自動で送られ、いちばん最初に受信できた放送局で止まります。

ステレオ放送
…ステレオ放送受信時に表示
(FMステレオ放送のみ)

※電波状況表示と実際の受信状態は、使用環境によって一致しないことがあります。

❹ 音量ボタン(小／大)を押して音量を調節します。
- 音量は0〜32の間で調節できます。
- 音量の上げすぎにご注意ください。
- 約2秒間、音量が表示された後、元の画面に戻ります。

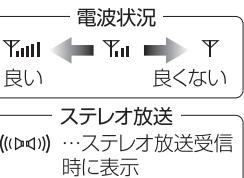
❺ 終了するときは電源／スリープボタンを押して電源を切ります。
現在時刻表示に戻ります。

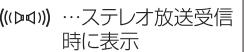
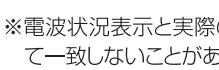
ヒント　受信状態をよくするには

一般に窓際のほうが良い状態で受信できます。

●**AM放送の受信**

本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。

※テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離してご使用ください。

●**FM放送の受信**

FMロッドアンテナを伸ばし、長さ、方向、角度を変えて、受信状態が最も良くなるように調節します。

ご注意

持ち運ぶときは、目をついたりして危険ですので、FMロッドアンテナを縮めた状態にしてください。

手動メモリー登録と自動メモリー登録(ATS)

手動メモリー登録…よく聴く放送局を選び、手動でメモリー登録します。
自動メモリー登録(ATS)…お使いのエリアで受信可能な放送局を自動登録します。
※手動と自動を合わせて、AM、FMそれぞれ最大30局まで登録できます。

手動メモリー登録のしかた

1. 登録したい放送局を受信中に、メモリー設定／ ATSボタンを短く押します。
   プリセット番号(MEMOとCHが点滅)が表示されます。
2. 選局ボタン(∨／∧)を押して登録したい番号を選び、メモリー設定／ ATSボタンを押します。
   登録が完了すると点滅が止まります。

自動メモリー登録(ATS)のしかた

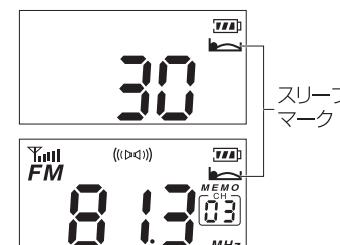
1. 自動メモリー登録を行いたいバンド(AMまたはFM)を選びます。
2. メモリー設定／ ATSボタンを長押しします。
   周波数が送られ、受信可能な放送局をAM、FM各最大30局まで自動登録します。登録が終わると、最初に登録された放送局を受信します。

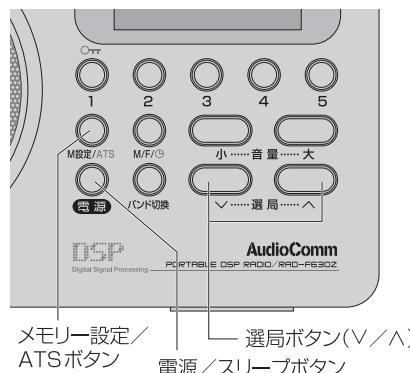
メモリー登録した放送局を聴くには

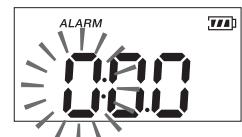
モード切換ボタンを押して自動モードにした後、選局ボタン(∨／∧)を押してお聴きになりたい放送局のプリセット番号に合わせます。
●メモリー登録した放送局のうち、最初の1～5までの放送局は、プリセットボタンで選ぶことができます。

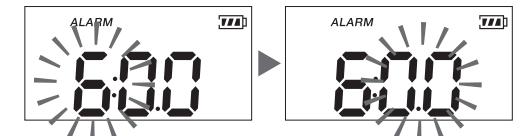
ご注意 手動と自動のメモリー番号は共通です。そのため、手動メモリー登録後に自動メモリー登録を行うと、登録内容が上書きされますのでご注意ください。また、自動メモリー登録後に手動メモリー登録を行った場合も、選んだプリセット番号の内容が上書きされます。

ホールドモード

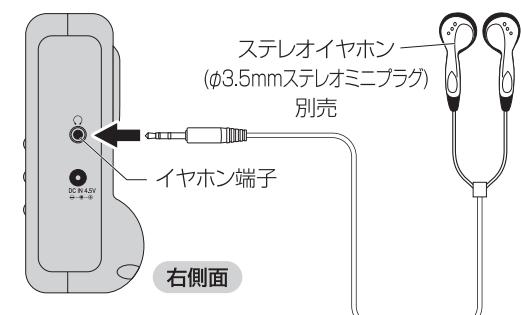
プリセットボタン「1」を長押しすると、ホールドモードになり、ボタン操作が無効になります。ホールドモード中は、ホールドマークが表示され、「HoLd」の文字が点滅します(「HoLd」表示は約5秒間で終了し、周波数表示に戻ります)。ホールドモードを解除するには、もう一度プリセットボタン「1」を長押しして、ホールドマークを消してください。

スリープ

自動電源オフまでの時間を設定します。

1. 電源が切れている状態で、電源／スリープボタンを長押しします。
   「100」の数字とスリープマークが表示され、そのまま押し続けると、90、80、70…と変化します。
2. 設定したい時間(分)が表示されたら、指を離します。
   スリープ機能が有効な状態で電源が入り、ラジオを受信します。

※解除するには、電源／スリープボタンを押して電源を切ってください。

アラーム

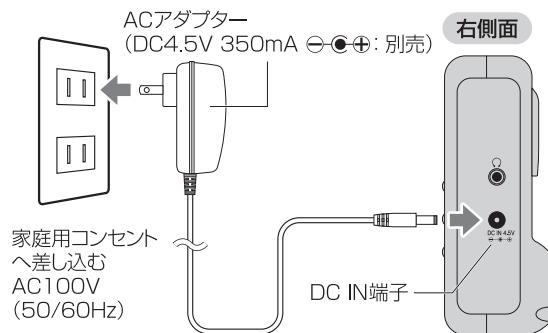
お好きなラジオ放送でアラーム設定ができます。アラームに設定したい放送局を受信したあと、電源／スリープボタンを押して電源を切り、以下の手順で設定してください。

1. メモリー設定／ ATSボタンを長押しします。
   アラームマークが表示され、「時」表示が点滅します。

2. 選局ボタン(∨／∧)を押して「時」を設定し、メモリー設定／ ATSボタンを押します。
   ●メモリー設定／ ATSボタンを押すと「分」表示が点滅します。

3. 選局ボタン(∨／∧)を押して「分」を設定し、メモリー設定／ ATSボタンを押します。
   設定が確定し、点滅が止まります。

ご注意
何も操作しない状態が約9秒間続くと、その時点で設定が確定し、アラームが有効な状態になります。必要に応じて最初からやり直してください。

ヒント アラーム設定時刻になると、自動的に電源が入り、ラジオ音声が流れます(このとき、アラームマークが点滅します)。アラームを止めるには、電源／スリープボタンを押して電源を切ってください。
※この状態ではアラームマークが表示されたままで、翌日の同時刻に再びアラームが起動します。設定を解除するには、メモリー設定／ ATSボタンを押してアラームマークを消してください。

イヤホンで聴くときは

●スピーカーからの音声はモノラルですが、イヤホンではステレオ音声に対応しています。
●別売のイヤホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)を右側面のイヤホン端子につなぎます。イヤホンをつなぐと、スピーカーからの音は聴こえなくなります。
●イヤホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
●家庭用コンセントでご使用時、イヤホンでお聴きになると、ハム音(ラジオなどの音声に混じって聴こえる「ブーン」という音)が耳障りになることがあります。その場合は、乾電池にてご使用になられるようお願いいたします。

ご注意 モノラルプラグのイヤホンには対応しておりません。必ずφ3.5mmステレオミニプラグタイプのイヤホンをご使用ください。

家庭用コンセントで使うには

本製品には、ACアダプターは付属しておりません。市販のACアダプター(DC4.5V 350mA ⊖◉⊕)を別途お買い求めの上、ご使用ください。

●ACアダプター(別売)を使って、本機のDC IN端子と家庭用コンセントを接続してください。

●ACアダプター使用時は乾電池を装着している場合でも、自動的にAC電源に切り換わります。

●本機を使用しないときは電源プラグをコンセントから外してください。

ご注意 ●ACアダプターは必ず、本機の仕様に適合した製品をお使いください。適合しない製品を使うと、機器の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

●安定化回路内蔵式のACアダプターを使用すると、ラジオ受信時に雑音が入ることがあります。

故障かなと思ったら

症　状	確　認　事　項
電源が入らない	●乾電池が正しく装着されていますか。 ●乾電池が消耗していませんか。 ●(ACアダプター使用時)ACアダプターが本機及び家庭用コンセントにしっかりと接続されていますか。
音が出ない	●音量が最小になっていませんか。 ●イヤホン端子にイヤホンが差し込まれていませんか。
ラジオが受信できない 雑音が入る	●音量が最小になっていませんか。 ●電波の弱いエリアであったり、近くにノイズを発する機器などがありませんか。 ●近くで携帯電話を使用していませんか(本機から携帯電話を離してご使用ください)。 ●蛍光灯の近くでAM放送を受信すると雑音が入ることがあります。本機を離してご使用ください。
ボタン操作が効かない	●ホールドモードになっていませんか。
自動メモリー登録ができない	●地域や周囲の状況によって電波が弱い場合、電波を検出できないことがあります。場所や向き、時間帯を変えて、できるだけ電波の良い状態で再度行ってみてください。

※急に正しく動作しなくなった場合、電源を切って乾電池を取り外し、再度装着し直すと、症状が改善することがあります。

お手入れのしかた

表面の汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ、軽く拭いた後で乾拭きしてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。

主な仕様

電　　源	DC4.5V(単1形乾電池×3本　別売)
外部電源	ACアダプター:DC4.5V 350mA ⊖◉⊕(別売)
スピーカー定格	3W 8Ω
受信周波数	AM:522～1620kHz　FM:76～108MHz
アンテナ	AM:フェライトバーアンテナ(内蔵)　FM:ロッドアンテナ
乾電池での連続使用可能時間の目安※	スピーカー出力時／ AMラジオ:約280時間　FMラジオ:約300時間 イヤホン使用時／ AMラジオ:約540時間　FMラジオ:約570時間
外形寸法	幅211×高さ135×奥行59mm (キャリーハンドル収納時、突起物含まず)
質　　量	約450g(乾電池含まず)
付属品	取扱説明書(保証書)

※新品のアルカリ乾電池を使用した場合(音量:中程度)の目安。周囲の温度や使用状況、乾電池の種類により、異なります。

※仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。